

ビジネスパーソンの「リスクリング」に必須の「DXビジネススキル」を可視化する「第4回DXビジネス検定(TM)」

申込み開始。経産省・IPA策定の「デジタルスキル標準」人像類型の可視化にも最適

▼DXビジネス検定(TM)シラバス

カテゴリ	科目	説明	主要キーワード	
DX 基礎領域	01	DXの基本	DXの基礎用語や事例	DX、RPA/OCR、デジタルトランスフォーメーション、デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー
	02	デジタル技術	デジタル技術用語や事例	IoT、クラウド、API、ブロックチェーン、Metaverse、AI/ML/LLM
	03	データと分析	データ、分析用語や事例	データサイエンス、BI、データガバナンス、データセキュリティ、データプライバシー
	04	マーケティング	マーケティング用語や事例	CRM、SEO/SEM、マーケティングオートメーション、デジタルマーケティング
DX ビジネス モデル	05	消費者の状況と ビジネス環境	ビジネスモデルの前提となる消費者の状況とビジネス環境の用語や事例	デジタルマーケティング、デジタルトランスフォーメーション、デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー
	06	職場モデル	ビジネスモデルのうち、職場モデルの用語や事例	働き方改革、デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー
	07	オペレーションモデル	ビジネスモデルのうち、オペレーションモデルの用語や事例	デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー
	08	収益モデル	ビジネスモデルのうち、収益モデルの用語や事例	デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー
DX ビジネス 事例	09	ビジネスモデル事例 (デジタル事業系)	デジタル事業系、デジタルトランスフォーメーション、デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー	デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー
	10	ビジネスモデル事例 (デジタル商材系)	デジタル商材系、デジタルトランスフォーメーション、デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー	デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー
	11	ビジネスモデル事例 (リアル+デジタル融合)	リアル+デジタル融合、デジタルトランスフォーメーション、デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー	デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー
	12	ビジネスモデル事例 (リアル)	リアル+デジタル融合、デジタルトランスフォーメーション、デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー	デジタル人材、デジタルスキル、デジタルリテラシー

一般社団法人

日本イノベーション融合学会（IFSJ）は、政府・企業・学校を含めて最優先で推進している、DXビジネス変革の実現に向け、全ての社会人・企業人が「DXビジネス人財」を目指し、リスクやDXビジネス知識を強化するために役立つ新検定、「DXビジネス検定(TM)」を2021年より主催しています。この度、次回第4回検定の受検申し込みが、[2023年1月16日](#)

の正午より開始されますので、ご案内いたします。

<受検日>法人：[4月20日\(木\)](#) / 個人：[4月23日\(日\)](#)

※「DX検定(TM)シリーズ」の累計、【受検実績企業】はこちら

(<https://www.nexttet.net/kentei/test/katuyou.html#kigyuu>)

※株式会社ネクストエデュケーションシンクは、本検定の事務局を運営しております。

企業における「デジタル技術とビジネスとの間を橋渡しできる人財」(ビジネスアーキテクト)のニーズ急増を受けて2021年に新設された「DXビジネス検定(TM)」は、自社ビジネスと「DX」の関わりを知り、世界や国内の先進のビジネスモデルやDXの成功事例を多数理解することで、すべてのビジネスパーソンが先進の「DXビジネス推進人財」「ビジネスアーキテクト」「ビジネス価値創造人財」となることを目指せる最新検定です。

また、昨年末に経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構(IPA)より発表された「デジタルスキル標準」の一つ、「DX推進スキル標準」とは親和性が高い検定です。

企業がDXを推進する専門性を持った人材を確保・育成するために、人財のデジタルスキルの可視化、学習の成果を可視化する効果測定や、レベル認定を目標にする等にすぐに活用いただけます。

<ご参考>

▼「デジタルスキル標準」(2022年12月21日) 経済産業省ホームページ

⇒ <https://www.meti.go.jp/press/2022/12/20221221002/20221221002.html>

受検対象は、すべてのビジネスパーソンの方々であり、企業の新入社員、若手社員、営業社員、中堅層からベテラン層、管理職、経営層まで。また、これからのDX時代で活躍を目指す社会人の方、大学・専門学校生の方にも役立ちます。

この度、第4回「DXビジネス検定(TM)」申し込みが [2023年1月16日](#)

12時より開始されますので、ご案内します。

申し込み期間：[2023年1月16日\(月\)](#) 12時~[4月4日\(火\)](#) 12時

検定日程；

- ・法人：[2023年4月20日\(木\)](#) 11:00~12:00 もしくは13:00~14:00(どちらかに受検)
- ・個人：[2023年4月23日\(日\)](#) 13:00~14:00

出題分野は添付の学習シラバス（画像）をご覧ください。

※株式会社ネクストエデュケーションシンクは、本検定シリーズの事務局を運営しております。

また本検定は、企業の人事・人財育成にもご活用いただけますよう、企業の業務・階層別の標準指標を発表し、レベル認定制度を実施しており、成績優秀者はスコアに応じ、レベル認定証が発行されます。

レベル認定された方には、ブロックチェーン技術を使ったデジタル証明・認証である「オープンバッジ」が付与されます。

オンラインで受検可能なこの認定を目指す企業様が急増傾向にあり、検定準拠のeラーニング「DX Study Biz(TM)eラーニング2022」とのセットでのお申込みが増えています。

(企業のDX人財像別の標準指標の詳細はこちら：

<https://www.nextet.net/column/dx/dxkenteiseries02.html>)

<レベル認定概要>

スコア800以上⇒「DXビジネス・プロフェッショナル レベル」認定

スコア700以上⇒「DXビジネス・エキスパート レベル」認定

スコア600以上⇒「DXビジネス・スタンダード レベル」認定

まずは全社員で「DXビジネス・スタンダードレベル」を目指し、次の目標として「DXビジネス・エキスパートレベル」、最終的には「DXビジネス・プロフェッショナルレベル」を目指していただくことをお勧めしています。

検定受検の詳細・お申込みは以下より確認可能です。

▼DXビジネス検定(TM) 公式ページ

<https://www.nextet.net/kentei/dxbiz/>

■検定概要

検定名 DXビジネス検定(TM) <「DX検定(TM)」シリーズ>

試験概要

DX時代の全ての企業人財（※ビジネスパーソン）のDXビジネス力を全分野から統合的に可視化する検定。また、基礎的なDXビジネス分野から、DXビジネス理論、マーケティング用語、DXビジネスモデル、DXビジネス事例などから幅広く出題される「デジタルスキル標準」にも対応した検定です。

動作環境 次のブラウザを推奨しています。※Macintoshでは動作保証はしていません。

<PC>Google Chrome、Edge、Firefox

レベル認定に

ついて 成績優秀者はスコアに応じ、以下のレベル認定証が発行されます。(1000ポイント満点)

スコア800以上⇒「DXビジネス・プロフェッショナル レベル」

スコア700以上⇒「DXビジネス・エキスパート レベル」

スコア600以上⇒「DXビジネス・スタンダード レベル」

出題問題

最新技術を活用したビジネスモデルや注目事例を中心としたDXビジネスにかかわる全般の必須知識項目の幅広い範囲から、厳選して出題

※検定委員会による定期的な検討会により、毎回、最新項目が出題されています。

※推奨参考図書は検定サイトにて随時ご案内しています。

受検料 一般：6,600円(税込)

<※学校経由の団体申込みは別途、お問合せください>

(検定サイトから、①個人申し込み ②法人申し込み が可能です。)

開催時期 4月、10月の年2回実施 (Web開催)

第4回開催日 法人：[2023年4月20日\(木\)](#)

(1)11時～12時、(2)13時～14時のどちらかを選択

※50名様以上の団体受験の場合、別途企業向けの検定実施日をご相談ください。

個人：[2023年4月23日\(日\)](#) 13時～14時

受検所要時間：60分、96問

結果発表予定 [2023年5月24日](#) を予定。

※また検定実施後の企業向けオプションとして、ご希望により組織分析・全国比較報告等の支援も承ります。

■DXビジネス検定(TM)公式サイト <https://www.nexttet.net/kentei/dxbiz/>

■一般社団法人 日本イノベーション融合学会 (IFSJ) サイト <https://www.ifsj.or.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ

DXビジネス検定(TM)事務局

株式会社ネクストエデュケーションシンク内 捧/齋藤(加那)

TEL : 03-5842-5148 FAX : 03-5842-5147 e-mail: ifsj-itbt@nexttet.net

ニュースリリースに掲載されている情報(サービスの価格/仕様、内容及びお問い合わせ先など)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

Generated by ぷれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>